



大樹によせる詩

金子静江

いくつもの 冬の季節
いくつもの 朝と夜のなかで
みまもり
はげまし
愛してきた
若い樹が
いま
大きく育って 立っている

ここには
ひとびとの胸に
生きるよるこびを燃やす
新しい風が吹いている

求めつづけ
歩きやまないものに
豊かなみのりをよびかける
大きな樹よ

嵐に耐えて
その幹は 堅く
水脈をさぐる
その根は 深い

生命すがしい 大樹よ
みどり濃く 枝を張れ
木蔭に寄りそい
やすらぎを求めものには
やさしい葉ずれの調べを
はげましを求めものには
立ちのぼる樹液の歌をきかせてくれ

そして
大きな樹よ
日本の空 いっぱいに
あふれるほどの
光りを 溶かし
あふれるほどの
希望の春を。

